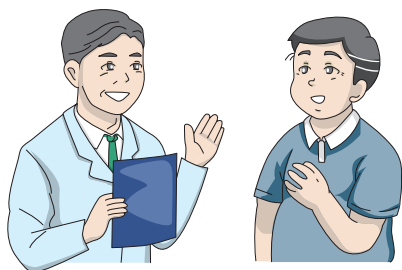


<腹部症状>

- このお薬を飲み始めた時には、おなかが張ったり、おならの回数が増えることがあります。服用を続けると改善することが多いのですが、症状が強かったり、腹痛を伴うなど、特に気になる場合は主治医または薬剤師に相談してください。

この他にも気になる症状があらわれた場合やわからないことがある場合には、**主治医または薬剤師に気軽に相談してください。**



保管等に関する注意点

- 直射日光・高温多湿を避け、子供の手の届かないところに保管してください。
- 吸湿性が高いので、服用する直前にPTPシートから取り出してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人に譲ったり渡したりしないでください。

アカルボース錠「NIG」

を服用される方とご家族の方へ

このお薬は、**食後の急激な血糖上昇を抑えるお薬**です。

飲み方について

- このお薬は食事の直前に服用してください。もし、食事の直前に飲み忘れた時には食事中に服用してください。食後または空腹時の服用では、効果が弱くなります。



- 主治医または薬剤師の指示通りに服用してください。**
自分の判断で服用を中止したり、服用する量をかえたりすると病気が悪化することがあります。

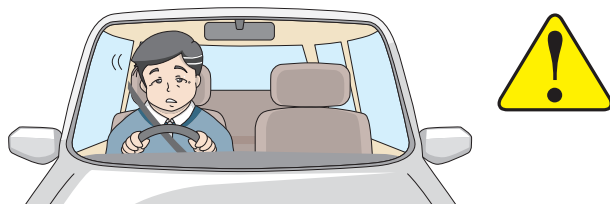
低血糖症についての注意点

1. 低血糖症とは

- 血液中の糖分が少なくなりすぎた危険な状態で、**強い空腹感、力の抜けた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛、意識を失う等**の症状があらわれます。

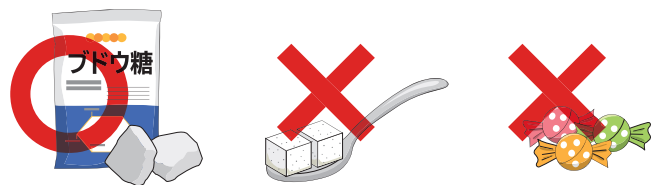


- **高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業をしている時に、低血糖症を起こすと事故につながります。特に注意してください。**



2. 低血糖症が起きたら

- 普段からブドウ糖を持ち歩き、低血糖症の症状があらわれた場合には、必ず**ブドウ糖**を摂取してください。携帯用ブドウ糖については、主治医または薬剤師に相談してください。尚、このお薬の場合には**砂糖やあめ玉では不十分**です。



- 低血糖症を起こした場合には、早めに主治医に報告してください。

3. 低血糖症の予防には

- お薬の量や飲み方は、主治医または薬剤師の指示を守ってください。勝手にお薬の量や飲み方をかえるような**自己流のやり方は危険**です。
- **食事療法や運動療法はきちんと守ってください。**食事をみだりに減らしたり、抜いたりせず、お酒の飲みすぎや激しい運動、下痢などに注意してください。
- **糖尿病のお薬を服用していることを書いたカードを身に付けておきましょう。**意識を失うような低血糖症の症状があらわれた時に、すぐに治療してもらえるようにしておくことは重要です。
- このお薬には一緒に服用する時に注意が必要なお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合には、**必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。**

副作用について

<肝臓の機能障害>

- このお薬の服用で、肝臓に障害があらわれることがあります。早期発見と適切な対処のために、**飲み始めの6カ月間は毎月、その後も定期的に肝機能の検査が行われます。**
次の症状があらわれた場合は、必ず主治医に連絡してください。

